

令和5年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	・既習漢字活用ことが少ない	・対話的な活動を意図的に取り込んで、学習計画を作成する。		
算数	・基礎的な計算力の定着度に差がある。 ・文章問題の内容を理解して正しく式に表すことに課題が見られる。 ・思考・判断・表現力を問う問題に課題が見られる。	・朝学習や e ライブラリを活用して、既習の問題に取り組み、基礎基本の定着を図る。 ・文章中のキーワードに線を引いたり、図や表を使ったりして、問題場面を把握し、立式することを繰り返し指導する。 ・様々な考え方に触れられるよう、導入時に既習内容を振り返ったり、対話的な活動を意図的に取り入れたりする。		
理科	・理科用語の概念が曖昧であり、予想を立てる際や考察する際に用語を使って説明することができない児童が少ない。 ・観察や実験の結果から考察したり、次の課題を見出したりすることに慣れていない。	・一つ一つの言葉の概念を明確にしながら、教師が意識的に理科用語を使用する。前学年までに学習した言葉も意識的に使用し、繰り返し指導する。 ・単元の目標や課題を明確にし、提示する。児童とともに前時で分かったことや、解決していないことを整理しながら学習を進める。観察や実験結果から分かったことやまだ分からないこと、さらに知りたいことを話し合う活動を通して、次の課題につなげる。		
社会	・資料の読み取りから課題を見出すことが苦手な傾向がある。 ・調べてまとめたことを基に考え、社会的事象の特色や意味などを理解することが難しい。	・資料の着目してほしい部分を限定して指示し、みんなで共有しながら課題を見付ける。 ・調べたことをポスター、年表、ガイドマップなどにまとめ、社会的事象の特色や意味などを全員で共有する場面を設定する。		
音楽	・歌唱活動では、元気に歌うことができる児童が多いが、他のパートが入ると、自分のパートの音に自信を持てなくなる。 ・演奏するときに、周りの音を聴かずに演奏することがある。	・音の重なりの部分を取り出して練習したり、リコーダーでの音の重なりを感じる活動を取り入れたりして、他のパートの音を聴くような場面を複数設定する。 ・拍を共有する場面やパートごとの重なりを意識して練習を進められるようにする。		
図画工作	・テーマに沿って創作活動に取り組む際に、自分の経験やイメージを基に想像を広げることが難しい。 ・鑑賞活動の際に、造形的な見方・感じ方を働かせた鑑賞をすることがもう一歩である。	・作品のアイデアを考えるときは、ワークシートなどを活用し、思考を整理して広げていくことができるようにする。 ・視点を整理し、どのようなところに注目したらよいか分かるように発問を工夫する。		
体育	・各運動の知識と経験が少ない。 ・考えたことを友達に伝えたり、よりよくするための課題を見つけたりすることが苦手である。 ・場や器具などの安全に気を付けることが不十分である。	・各運動の導入段階で教師による見本や ICT 機器を活用して技能を知識としておさえる。また、技能向上のために様々な運動を取り入れる。 ・自分の考えをもって運動に取り組めるように学習カードを活用する。 ・各運動の導入段階で場の設定の確認、共通理解を徹底する。		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。